

第1回京都府地域共創大学連携会議の結果について

令和4年11月4日
文化スポーツ部大学政策課

8月26日（金）に京都ガーデンパレス葵にて開催されました第1回京都府地域共創大学連携会議の結果は、下記のとおりでした。

記

1 会議概要

日時・場所 8月26日(金)15:30~17:00

京都ガーデンパレス 葵

出席者 府内42大学・短期大学、京都市、大学コンソーシアム京都

内容 基調講演、意見交換 等

2 主な意見

- ・地域連携により、住民からは地域のコミュニケーションの活性化につながり、学生からは地域へ良い影響を与えたということで達成感があったとの声をもらっており、地域連携は、双方にメリットがあると感じる。
- ・南丹市日吉町でのまちおこし、伝統行事への参加等にゼミ単位で参加をしており、体験型実習により、主体性、創造性、共感力のある人材育成に繋がっているのではないかと考えている。一方、課題として、ゼミ生入れ替えによる継承性や地域に深く入り込むことの難しさを課題として認識している。
- ・京丹後市と「夢まち創り大学」という形で計18大学、8000人以上の学生が地域に通って地域との連携を行うことができているが、これは自治体側から京都市までの送迎バス実施等の積極的な支援があったことによって続けることができた。自治体側（市町村）がこれらの取組を地域の持続性や課題解決にどうつなげていくか戦略を作っていくことが必要であり、そういうところに府の支援が必要である。
- ・地域の企業等とのネットワークを構築し、連携を行っていく中で、双方の具体的なメリットが課題となる。例えば、京都府の奨学金返済支援制度において、大学との連携に関わる企業や学生に優遇制度を設ける等すれば、京都府の制度の周知にもつながり、学生、企業にもメリットが生まれる実効的な取組になるのではないかと考える。
- ・大学の授業は4月からスタートするため、補助金等による支援をいただけるのであれば、4月当初から使えるよう配慮をお願いしたい。市町村の負担を求めると、市町村の補正予算の関係等もあり、年度当初から活動できない。
（現在の府内定着等推進事業費補助金は府、市町村、大学で1/3ずつ負担の補助）

3 今後のスケジュール

令和4年11月~令和5年2月

第1回会議の結果を受けて、ワーキングを実施
（連携強化に関する課題・対策、各分野・テーマに係る課題提案・マッチング）

令和5年2月下旬~令和5年3月上旬

第2回京都府地域共創会議実施
（連携事業の実施状況の報告等）